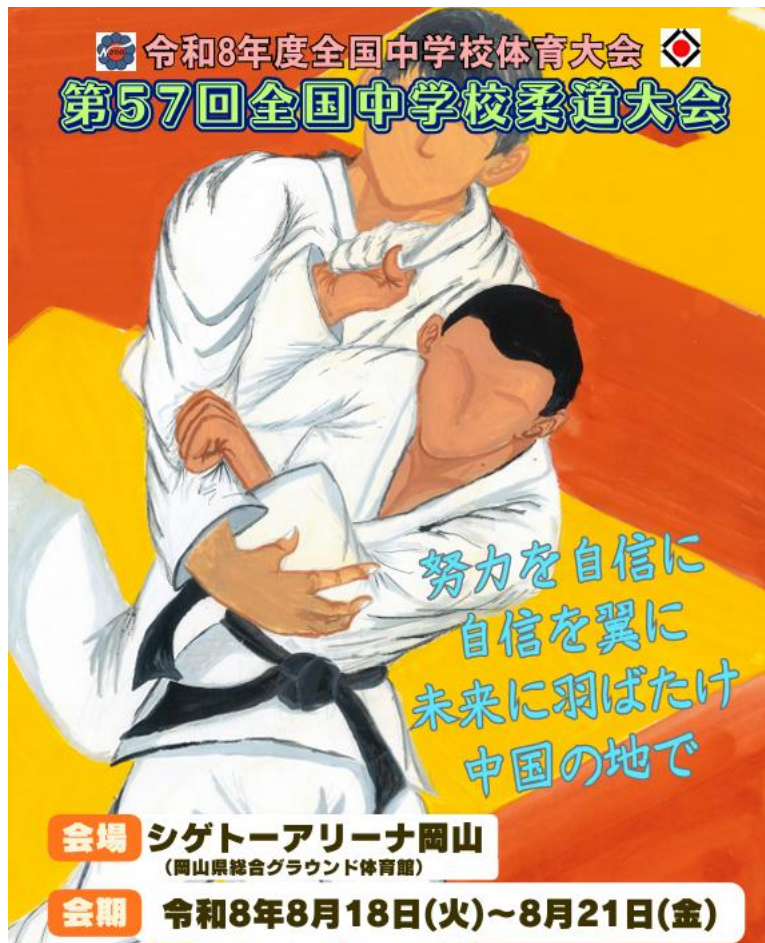


(公財) 令和8年度 全国中学校体育大会
第57回 全国中学校柔道大会

監 督 会 議



令和8年度全国中学校柔道大会スローガン



©岡山県「ももっち」

『努力を自身に 自信を翼に

未来に羽ばたけ 中国の地で』

◇ 日 時： 令和8年8月18日(火) 10:30～11:00
◇ 場 所： シゲトアリーナ岡山 (会議室)

令和8年度 全国中学校体育大会

第57回 全国中学校柔道大会

監督会議次第

進行 岡山市実行委員会事務局次長 石田 崇

次 第

- | | | |
|----------|--|------------------------|
| 1 開会のことば | 岡山県中学校体育連盟柔道専門部委員長 | 大橋 優樹 |
| 2 挨拶 | (公財)日本中学校体育連盟理事
(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部長 | 中山 政彦
神谷 兼正 |
| 3 競技上の注意 | 大会審判長 | 天野 安喜子 |
| | (1) 第57回全国中学校柔道大会の審判申し合わせ事項
(2) 協議 (質疑応答) | |
| 4 諸連絡 | 岡山市実行委員会 競技について
総務・式典について
大塚製薬株式会社
近畿日本ツーリスト(株)岡山教育旅行支店 | 松平 憲彦
石田 崇
小野 征祥 |
| 5 閉会のことば | 岡山県中学校体育連盟柔道専門部委員長 | 大橋 優樹 |

会議・大会日程

8月17日(月)	時 間	場 所
☆ 女子団体戦計量 ※ブロック別	10:00~13:50	岡山武道館 練習道場

8月18日(火)	時 間	場 所
○ 審判会議	9:45~10:15	会議室
○ 監督会議	10:30~11:00	会議室
○ 開会式	12:00~12:10	メインアリーナ
○ 競技開始(女子団体戦)	12:30~	
○ 表彰式	17:10~17:25	
☆ 男子団体戦計量 ※ブロック別	8:00~13:50	岡山武道館 練習道場

8月19日(水)	時 間	場 所
○ 審判打ち合わせ	8:50~9:10	会議室
○ 競技開始(男子団体戦)	9:30~	メインアリーナ
○ 表彰式	16:45~17:00	
☆ 女子個人戦計量 ※ブロック別	8:00~13:50	岡山武道館 練習道場

8月20日(木)	時 間	場 所
○ 審判打ち合わせ	8:20~8:40	会議室
○ 競技開始(女子個人戦)	9:00~	メインアリーナ
○ 表彰式	17:15~17:30	
☆ 男子個人戦計量 ※ブロック別	8:00~13:50	岡山武道館 練習道場

8月21日(金)	時 間	場 所
○ 審判打ち合わせ	8:20~8:40	会議室
○ 競技開始(男子個人戦)	9:00~	メインアリーナ
○ 表彰式・閉会式	17:15~17:45	

Ⅰ. 本大会要項より <<Ⅱ 競技規則 Ⅲ 競技方法 より抜粋>>

【Ⅱ 競技規則】大会要項参照

国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会試合審判規程」並びに本大会申し合わせ事項による。

【Ⅲ 競技方法】大会要項参照

(Ⅰ) 団体戦

- ① 男女とも、参加48チームを3チームずつ16組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位16チームによって決勝トーナメント方式を行う。
- ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」

- ⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
 - ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
 - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。試合方法は個人戦の競技規則とする。(3チーム同等の場合は、リーグ方式による代表戦を行う。代表戦は、試合ごとに任意の選手を1名選出する。)
- ⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
 - ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。代表戦は任意の選手とし、試合方法は個人戦の競技規則とする。
- ⑨ 代表戦で両者反則負けの場合には、両チームとも次の試合に進めない。

(2) 個人戦

- ① 男女とも、各階級48名までによるトーナメント方式で行う。
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- ④ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
- ⑤ 選手には、監督・コーチのどちらか1名は付き添うこと。

※ 勝敗の決定基準は、(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部より令和4年2月7日に発出された「第53回全国中学校柔道大会における競技規則の一部改正について(お願い)」を適用し、以下の通りとする。

- ① 個人戦の勝敗については、団体戦の個々の試合と同じように、本戦において技による得点差がなく、「指導」差2で試合が終了した場合は、僅差による「優勢勝ち」として勝敗を決する。
- ② 得点差がなく、「指導」差1以内の場合は、時間無制限、ゴールデンスコア(GS)による延長戦を行う。GSについては、改正ルールを適用せず、技による得点がない場合「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。

2. 本大会申し合わせ事項

- (1) 立ち姿勢において後ろ襟を握ることを認める。
- (2) 試合中において危険な状態と審判員が判断した場合は、早めに「待て」とする場合がある。
- (3) 試合中において受傷し、試合続行に支障をきたす(重大な事故をさらに誘発する危険性の回避)と大会本部が判断した場合は、試合を終了させる場合がある。
- (4) 試合に臨むチームや選手の呼び出しについては以下の通りとする。

チーム、選手の呼び出しにあたっては次の通り対応する。試合場内の呼び出して登場しない場合、場内放送で1回目の呼び出しを行う。その後、1分間隔で2回呼び出しの場内放送を行うが、合計3回目終了時に登場しない場合は「失格」とする。失格となった場合、一連の試合に出場できない。

- (5) 試合中(「待て」から「始め」の間を除く)の発声について、監督・コーチはベンチからの大声で指示や指導、声援を禁止する(審判員には注意と退場の権限を与える)。
- (6) 柔道並びにスポーツ精神に反する反則負け、直接的反則負けについては、その後の試合に出場できないが、例外としてユージング・ザ・ヘッド、ダイビング、ヘッドディフェンスによる反則負けになっても、その後の一連の試合に出場できることとする。直接的反則負けにより、一連の試合に出場できなくなった選手がいた場合、当試合の主審が大会本部まで、当チーム、当選手、内容を伝える。一連の試合とは、団体戦と個人戦は別とする。
- (7) GS 時の抑え込みについて、個人戦は5秒有効「それまで」、団体戦での代表戦の抑え込みは20秒まで見ることとする。

(8) 遅延行為(試合会場での円陣等)は控える。

(9) 服装検査係又は審判が髪の毛が試合の妨げになると判断した場合は髪の毛をくくるように指示される。

(10) その他、(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部及び、(公財)全日本柔道連盟審判委員会からの通達を適用する。

(11) 競技中において生じた不測の事態(特に定められていない事項)については、大会本部で協議し決定する。

(12) 試合において、審判長および審判委員が適正介入することがありますのでご理解ください。

(13) 試合場におけるコーチの振る舞いについて

① コーチの役割

1. コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
2. コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

② コーチの場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、コーチの2名のみ入ることが許され、用意された椅子に着席しなければならない。

③ コーチの言動

試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。

次の行為を禁止する。

- (ア) 試合が続行している最中に指示を出すこと。また、試合中に立ち上がること。
- (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
- (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するよう行為。
- (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
- (オ) その他、柔道精神に反する行為。

コーチの服装

コーチは審判員に準じた服装とし、IDカードを付けるものとする。

罰則

上記に違反した場合は、下記による処分を科すものとする。

- ① 1回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
- ② 1回目の注意で改善されない場合は、審判委員が大会委員長または審判長に報告の上、その試合が終了するまでコーチ2名とも所定の席(ペナルティーボックス)へ移動させる。但し、試合はその後も続行するものとする。
- ③ 次の試合からは、またコーチ席に座ることができるが、その後も改善がみられない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

令和8年4月22日

(公財)日本中学校体育連盟
柔道競技部ブロック長の皆様
都道府県柔道競技部専門委員長の皆様

(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部
部長 神谷 兼正
(公印省略)

令和8年度全国中学校柔道大会における適用規程について（通知）

平素より本連盟柔道競技部の活動に、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記大会における試合運営につきましては、「国際柔道連盟審判規程」を基本とし、「少年大会試合審判規程」及び「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」を適用いたします。

つきましては、各規程等の改正点及び運用上の留意事項を下記のとおり整理いたしましたので、関係各位にご周知のうえ、適切な運用にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、大会の運営にあたっては、「正しい柔道」の実践と、発育発達段階にある中学生の安全確保を最優先にご配慮くださいますようお願いいたします。

記

1 国際柔道連盟審判規程に関する留意事項

- (1) 2026年1月26日に国際柔道連盟(IJF)より試合審判規程の改訂が発表されたが、中体連においては、改訂前の国際柔道連盟審判規程(2025年1月1日施行のもの)を適用する。

2 少年大会試合審判規程に関する留意事項

- (1) 本大会においては2026年改正の少年大会試合審判規程を適用する。
(2) 後ろ襟を握ることは、今まで通り認める。

3 日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項

以下の行為については、安全確保の観点から反則負けとする。

- (1) ダイビング(通称)
(2) ユージングザヘッド(通称)
(3) ヘッドディフェンス(通称)

以上

少年大会試合審判規程

国内における少年（中学生以下）の試合は、国際柔道連盟試合審判規程に則って行う。ただし、安全面を考慮し、本規程を加えて行うものとする。

〔禁止事項と罰則〕

1. 指導（軽微な違反）

- ① 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部を握ること。
ただし、技を施すため、瞬時的（1, 2秒程度）に後ろ襟、背部を握ることを認める。
（注）中学生については、後ろ襟を握ることを認めるかどうかは主催者が判断し、決定する。
- ② 両膝を最初から同時に畳に着いて背負投等を施すこと。
（注）小学生以下は、技を施すため、片膝を着くことも反則とする。
- ③ 関節技及び絞技を用いること。
- ④ 無理な巻き込み技を施すこと。
- ⑤ 相手の頸を抱えて大外刈、払腰、腰車などを施すこと。
- ⑥ 小学生以下が、裏投を施すこと。
- ⑦ 通称「逆背負投」に類する技を施すこと。
- ⑧ 両袖を持って投げ技を施すこと。
- ⑨ 相手の上衣の袖の中、又は下穿きの裾の中に指を入れて握ること。
- ⑩ 立ち姿勢で標準的ではない組み方（片襟持ち〔通称：クロスグリップ〕、帯、または帯から下の部位〔内股上部：両脚の付け根の水平ラインまで〕を握ること）で、直ちに技を施さないこと。標準的ではない組み方を繰り返した場合は、攻撃をしても反則とする。

2. 反則負け（重大な違反）

- ① 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めること、または頸部を絞めること。

改廃

本規程の改廃は、審判委員会において協議し、理事会の承認を得て行う。

付則

この申し合わせは、平成22年5月1日から実施する。

この申し合わせは、平成23年6月14日から部分変更して施行する。

この申し合わせは、平成27年3月31日から改正し、平成27年6月1日から施行する。

この申し合わせは、平成27年11月30日から申し合わせを特別規定として改正し、施行する。

この特別規定は、平成30年3月1日から改正し、平成30年4月1日から施行する。

この特別規定は、令和3年3月15日から特別規程と改正し、施行する。

この特別規程は、2022年1月24日から改正し、2022年4月1日から施行する。

この特別規程は、2023年12月8日から改正し、2024年4月1日から施行する。

この特別規程は、2025年3月13日から改正し、2025年4月1日から施行する。

この規程は、2026年3月16日から名称を「少年大会試合審判規程」に改正し、2026年4月1日から施行する。

少年大会試合審判規程

(附則)

1. 指導（軽微な違反）

① 「相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること」関係

(ア)「後ろ襟」とは、柔道衣を正しく着用したときの頸の後ろ側（うなじあたり）の範囲をいう。試合者の一方が後ろ襟を握った後、その襟を引き下げて側頸部にずらした場合でも「後ろ襟」とみなす。

(イ)「背部を握る」とは、肩の中心線に手首がかかるような状態を目安とする。背部を握った後、柔道衣をたぐりよせて釣り手の一部の指が後ろ襟の内側を握る状態になっても背部とみなす。特例として「後ろ襟、又は背部を握った」状態で、通称ケンケン内股等(内股に限らずケンケンとなる大内刈や大外刈等)をかけることは、〔瞬時的（1, 2 秒程度）〕の事項を適用せず、また、その後、連絡した技や変化した技についても、技の効果が途切れるまで継続を認める。

② 「両膝を最初から同時に畳に着いて背負投等を施すこと」関係

両膝を最初から畳に着くとは、膝の外側部、内側部も含む。同時はもちろん、ほとんど同時と見なされる場合も含む。技が崩れた結果である場合は反則としない。

③ 「関節技及び絞技を用いること」関係

(ア)寝技の攻撃・防御において、脚を交差して相手を制しているだけの状態は、三角絞とはみなさない。抑え込もうと脚を交差して相手を制止した後、絞まっている状態あるいは脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断した場合は、受傷を防ぐために、早めに「待て」とする。また、通称「三角固」の体勢となった時点で、危険な状態ではないと判断しても、交差している脚を直ちに解かなければ「待て」とする。交差していた脚を直ちに解けば、寝技の攻撃・防御は継続となる。

(イ)故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は「待て」とし、反則としない。

④ 「無理な巻き込み技を施すこと」関係

「無理な巻き込み」とは、軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むようにして巻き込んだ技をいう。技が崩れた結果である場合は反則としない。

⑤ 「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰、腰車などを施すこと」関係

「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰、腰車など」とは、明らかに腕を相手の頸に巻きつけて施した場合のみをいう。

⑥ 「通称『逆背負投』に類する技を施すこと」関係

例えば一方の試合者が右組み、他方の試合者が左組みの体勢から、右組みの試合者が、正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は、左足後回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて、背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し、背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。

⑦ 「両袖を持って投げ技を施すこと」関係

相手の両袖を左右それぞれの手で持ったまま袖釣込腰、大外刈、外巻込等の技を施した場合をいう。但し、相手の片袖を持って、相手に自身の片袖を持たせたまま内股等の技を施した場合は含まない。

以上

第57回全国中学校柔道大会 参加にあたっての連絡とお願い

1 大会参加申込について

- (1) 引率・監督は『大会参加申込要領』に従い、各提出書類・参加料等を都道府県委員長へ提出してください。
- (2) 宿泊・弁当申込につきましては、『大会参加申込要領』の『宿泊・弁当申込要項』に従い、申し込みをお願いします。不明な点は業者に直接お問い合わせください。
- ※指定宿泊業者以外の宿泊は認められません。

2 入場制限について

- (1) 都道府県関係者 ID (保護者や応援者等) は、各都道府県に各日「24」枚配付します。

(右図)

※個人戦において選手割した場合、1人の選手につき3枚ずつ

※「24」枚の都道府県内の内訳は、各都道府県の裁量

- ・エフラインテクノロジー株式会社の「QRコード認証システム (右下図)」を採用し、2階出入口に設置します。

- ・入場時に認証システムに ID の QR コードを読み取らせ、入場可の反応があった場合のみ入場を認めます。なお、退場時も QR コードを読み取らせることで不正利用防止を図ります。

- (2) 選手・監督・コーチ・個人戦付添者の ID は、事前配付せず、「受付」にて配付します。

- ・選手・監督・コーチ・個人戦付添者の ID には、QR コードの印字はありませんが、ID の色で行動範囲を制限します。

(右図は女子団体戦の ID)

- ・複数日出場の選手等には、該当日ごとの ID を配付します。

- (3) 各会場等の入場制限は下記の通りです。

＜シゲトアリーナ岡山2階観覧席＞

【2階観覧席への入場可能対象者】

- ① 選手・監督・コーチ・個人戦付添者
- ② 当日試合者の都道府県関係者

- ・開場時刻～15:00 まで入場制限を行います。15:00 以降は、入場制限は行いません。
- ・満席になった場合は、観覧席後方スペースで立ち見観戦でのご案内となります。
- ・最前列の一部を「現在試合者優先席」とします。

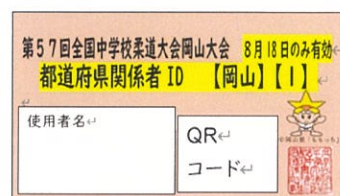
＜シゲトアリーナ岡山1階フロア＞

※1階フロア (試合会場・当日練習会場) への入場制限を行います (終日)。

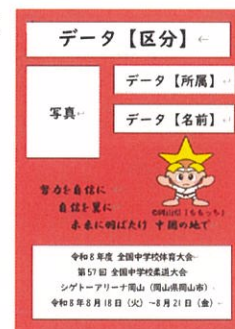
【試合当日：2階観覧席から1階フロアへの入場可能対象者】

当日の、試合者 (選手)・監督・コーチ・試合者 (選手) の個人戦付添者

※上記以外は、1階フロア (当日練習会場や試合会場) には入場不可とします。



QRコード読み取り



<岡山武道館（受付・公式計量・前日練習会場）>

- ・前日練習会場（岡山武道館本道場）のブロックごとの割当て時間内に入場できるのは、当該選手・監督・コーチ・個人戦付添者に限ります。また、公式計量会場（岡山武道館練習道場）へは当該選手・監督・コーチのみ、入場が可能です。但し、「受付」のある岡山武道館本道場2階観覧席は入場制限を設けません。

3 受付・公式計量・前日練習について

- （1）受付は、17日は10:00～16:00、18日～20日までは各日8:00～16:00、岡山武道館本道場2階観覧席ステージの「受付」で行うことができます。
- （2）公式計量・前日練習は、ブロック別を実施します。ブロックごとの割り当て時間内に公式計量・前日練習を行ってください。
 - ・公式計量を実施しなくてよい選手（団体戦の公式計量において、団体戦に出場しない個人戦出場選手等）やチーム関係者（都道府県関係者等）は、練習会場や公式計量会場への入場はできません（岡山武道館主道場2階観覧席にて待機をお願いします）。
 - ・全ブロックの公式計量・前日練習終了後、14:00～16:00の時間帯において、前日練習会場をフリー解放します。但し、前日練習会場に入場できるのは選手・監督・コーチ・個人戦付添者のみです。

4 計量・服装点検について

- （1）指定された時間内において1回のみ公式計量を行います。
 - ・非公式計量用の体重計（公式計量用と同じ型）を2台、練習会場内に設置しています。
- （2）団体戦計量は、監督（コーチ）のサインが必要です。必ず、監督（コーチ）が立ち会ってください。
- （3）個人戦計量の失格者については、本人のサインで処理します。監督（コーチ）は計量会場に入れません。
- （4）別室計量を希望する場合は、体重計に乗る前に予め係員に申し出てください。
- （5）計量時の服装は、係員の指示に従ってください。（「大会要項」参照）。
- （6）柔道衣点検は、試合当日、待機席への入場前に係員が目視による点検及びIJFマークの確認を行います。なお、試合途中、審判により疑義が生じた場合は、各試合場において審判員が計量器を用いて検査します。規格不適合と判断された場合は、同チームの別の柔道衣（規格適合しているもの）に着替えて、試合を行うことができます。代替柔道衣がない場合は、相手選手の「棄権勝ち」となります。
※サポーターを着用し、試合を行う選手は、点検前に係員まで申し込んでください。

5 駐車場・駐車券について

- （1）シゲトーアリーナ岡山がある岡山県総合グラウンド内は駐車スペースが手狭なため、参加チーム等への駐車場の手配はありません。
- （2）公共の交通機関やシャトルバス、岡山駅から徒歩での来場をお願いします。

6 医療救護について

- （1）「健康保険証」をご持参ください。
- （2）怪我をした場合、応急処置を行います。必要に応じて医療機関に移送します。その際、当該チームの関係者または保護者が同行してください。医療費は受療者負担となります。

7 開閉会式・表彰式について

(1) 開閉会式の簡略化について

- ①「開会宣言」「あいさつ」「選手宣誓」「表彰式」及び「閉会宣言」のみ実施します。
- ②「優勝旗・優勝杯返還」「バナー・レプリカの授与」は行わず放送で紹介します。
- ③開会式での選手整列は行いません（式典中は静粛にし、館内放送を聞いてください）。
- ④開会式への参加は、女子団体戦第2試合までの出場チームとなります。参加チームの選手は、11:55までに、各試合場の待機席に待機してください。12:00より開会式を開始します。
- ⑤開会式終了後、12:25までは試合場を利用した練習を認めます。但し、開会式の時間により、練習時間を確保できない場合がありますので、ご承知ください。
- ⑥閉会式は、男子個人戦表彰式後に実施します。閉会式への参加は、男子個人戦表彰式の受賞選手となりますので、ご承知ください。

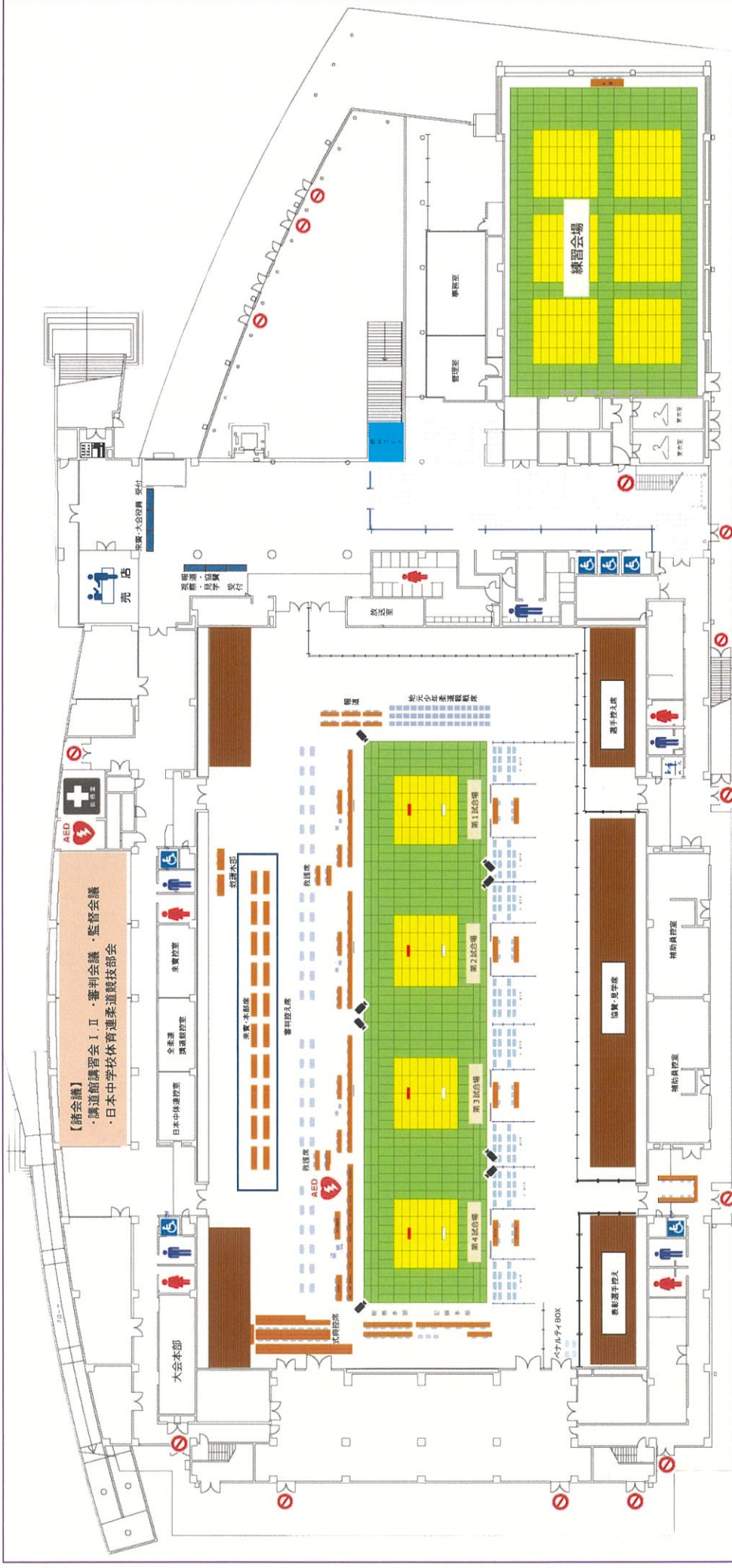
(2) 表彰式の簡略化について

- ①団体戦：優勝、準優勝、第3位のみ表彰。第5位及び敢闘賞は放送にて紹介します。
- ②個人戦：優勝、準優勝、第3位のみ表彰。第5位は放送にて紹介します。
- ③第5位及び敢闘賞の賞状は、シゲトーアリーナ岡山2階総合案内所にて、実行委員会から監督（コーチ）または選手に渡します。
- ④表彰式は、決勝戦終了後直ちに実施します。表彰されるチーム、選手のみなさんは、速やかにシゲトーアリーナ1階試合場フロアのロールバック席か、表彰場所に集合してください。

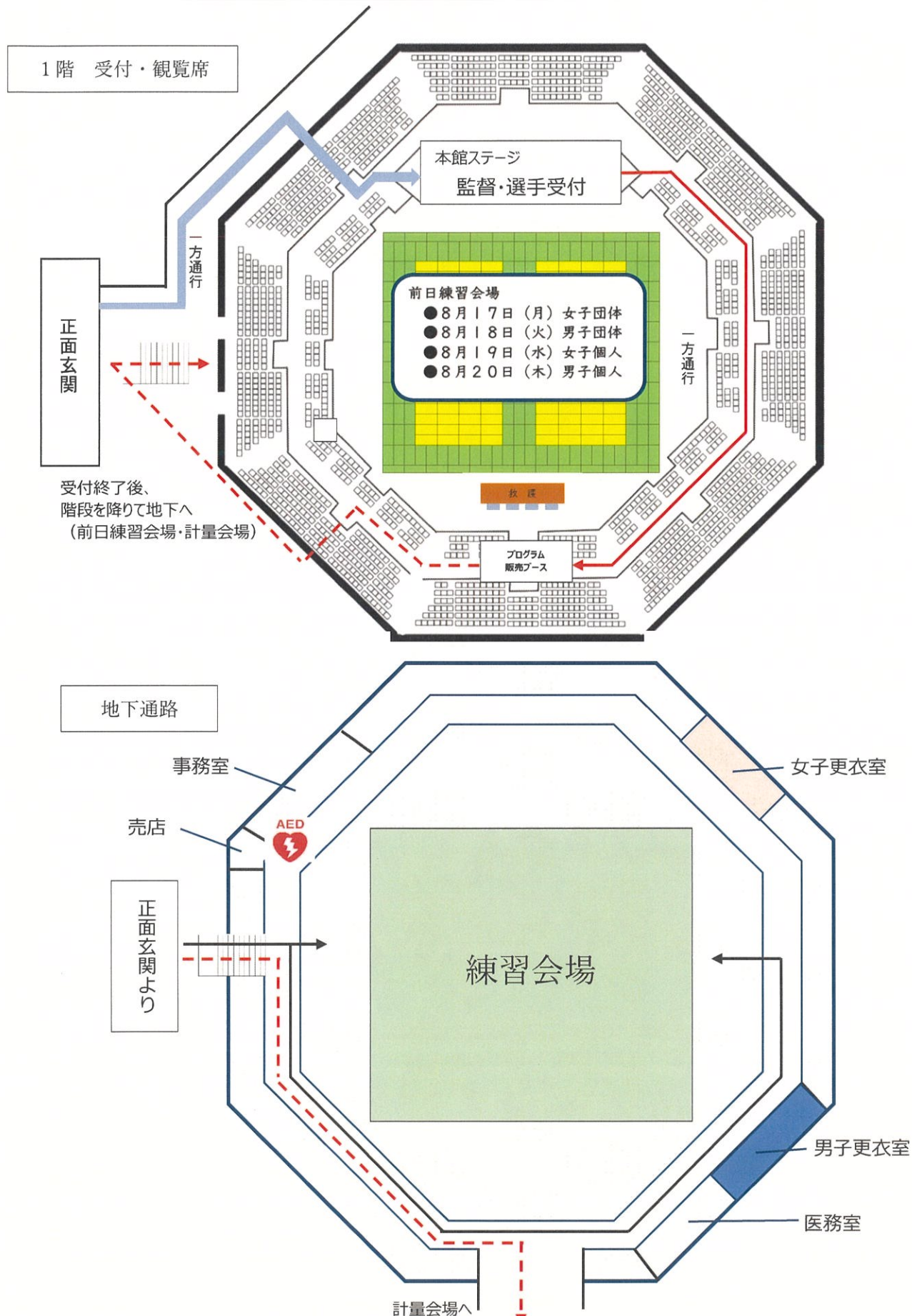
8 その他

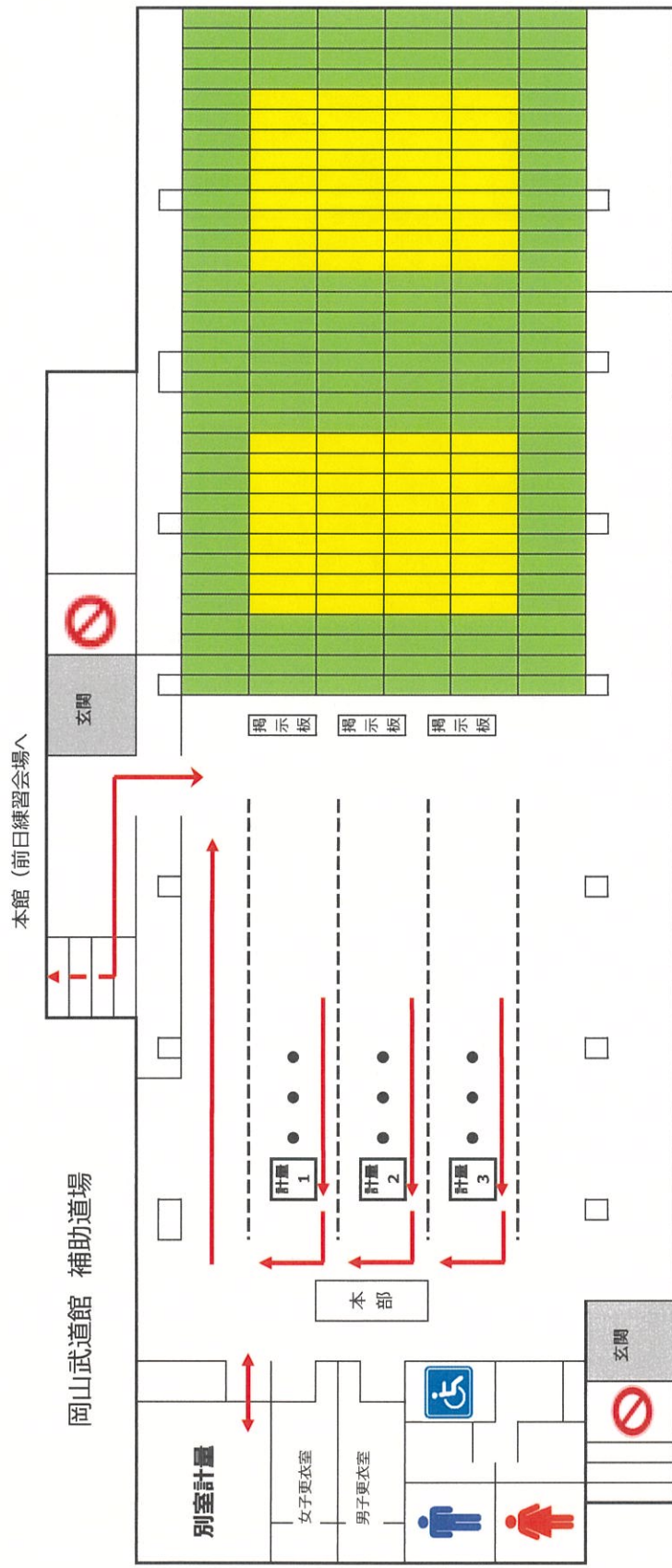
- (1) 参加者及び関係者は、必ず都道府県委員長からの連絡事項を確認してください。
- (2) 災害時の緊急避難については、会場職員、競技役員の指示に従ってください。
- (3) 大会会場での部旗・応援旗等の掲示は禁止します。
- (4) 貴重品の管理は各自の責任で行ってください。
- (5) 開場時刻より大幅に早く並ぶことはご遠慮ください。各都道府県・各チームで周知徹底していただきますようお願いします。
- (6) 監督会議への参加は、各都道府県より代表監督1名とします。
- (7) インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応については、令和6年3月31日付けで日本中学校体育連盟から出されている「令和6年度全国中学校体育大会実施上のインフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」をご確認ください。
- (8) 本大会に関する様々な連絡・情報は、大会HPに掲載します。随時、ご確認ください。
- (9) 全柔連TVにて大会期間中の試合をライブ配信します。また、大会終了後にアーカイブ配信も行います。個人情報の取り扱いに関しては『大会参加申込要領』の「個人情報及び著作権に関わる取り扱いについて」をご確認ください。
- (10) 紅白帯は、実行委員会にて用意します（各チームで用意していただいても構いません）。
- (11) シゲトーアリーナ1階試合場フロア等は土足厳禁となっております。必要であれば、下足入れ袋と上履き等をご準備ください。よろしくお願いいたします。

圖 1 階配圖

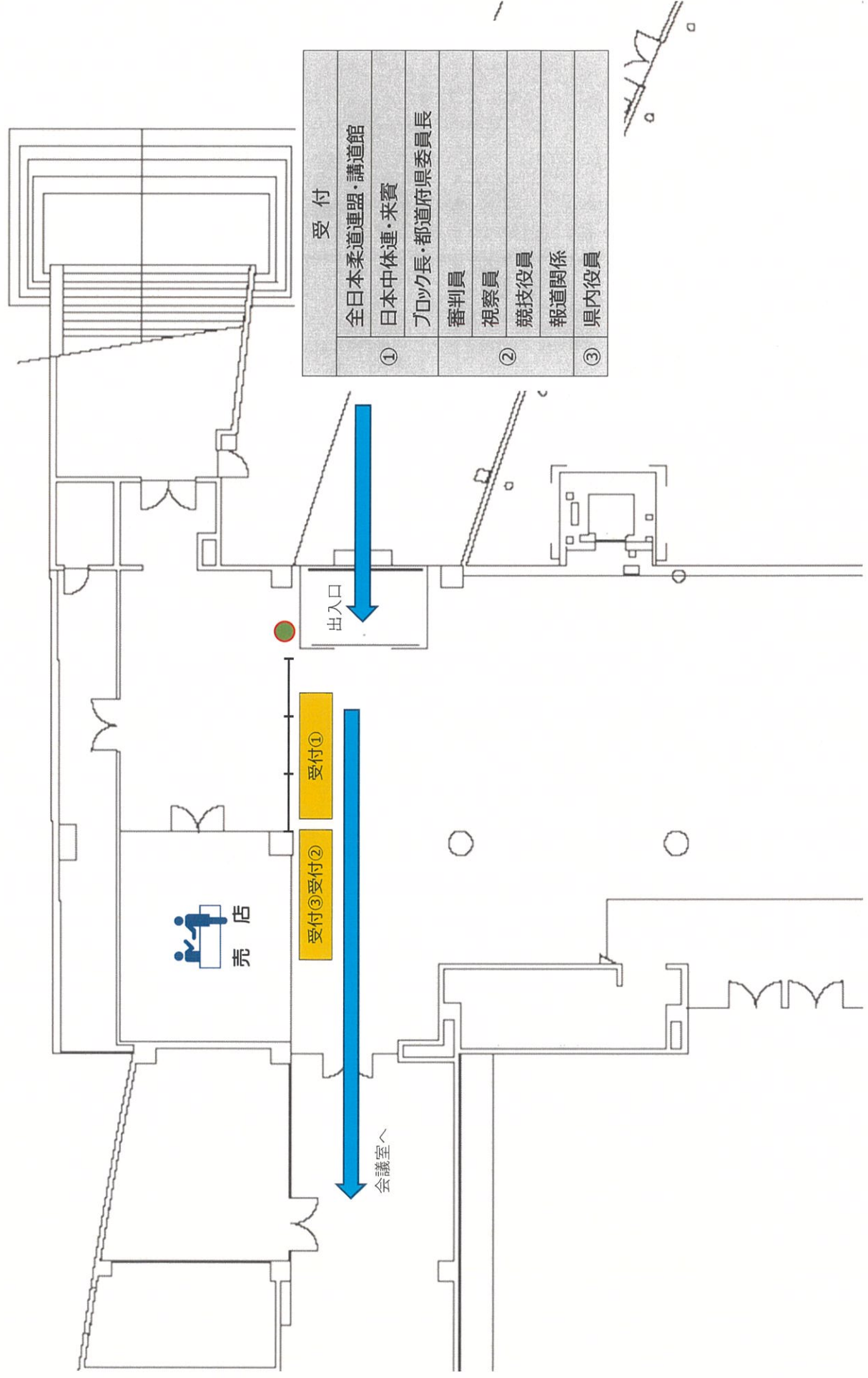


令和8年度全国中学校体育大会 第57回全国中学校柔道大会
・チーム受付 ・前日練習会場 ・計量会場
岡山武道館 会場図

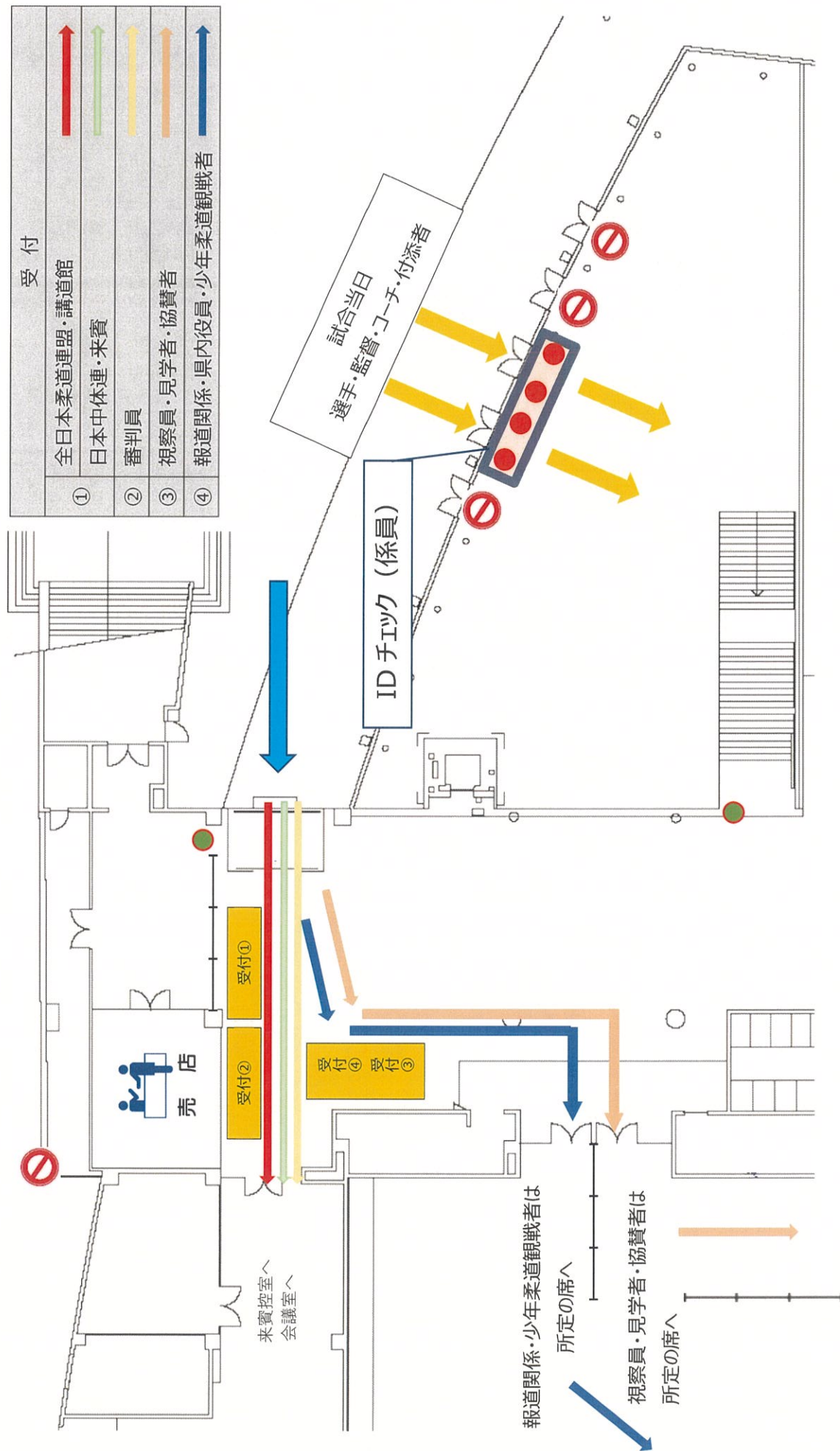




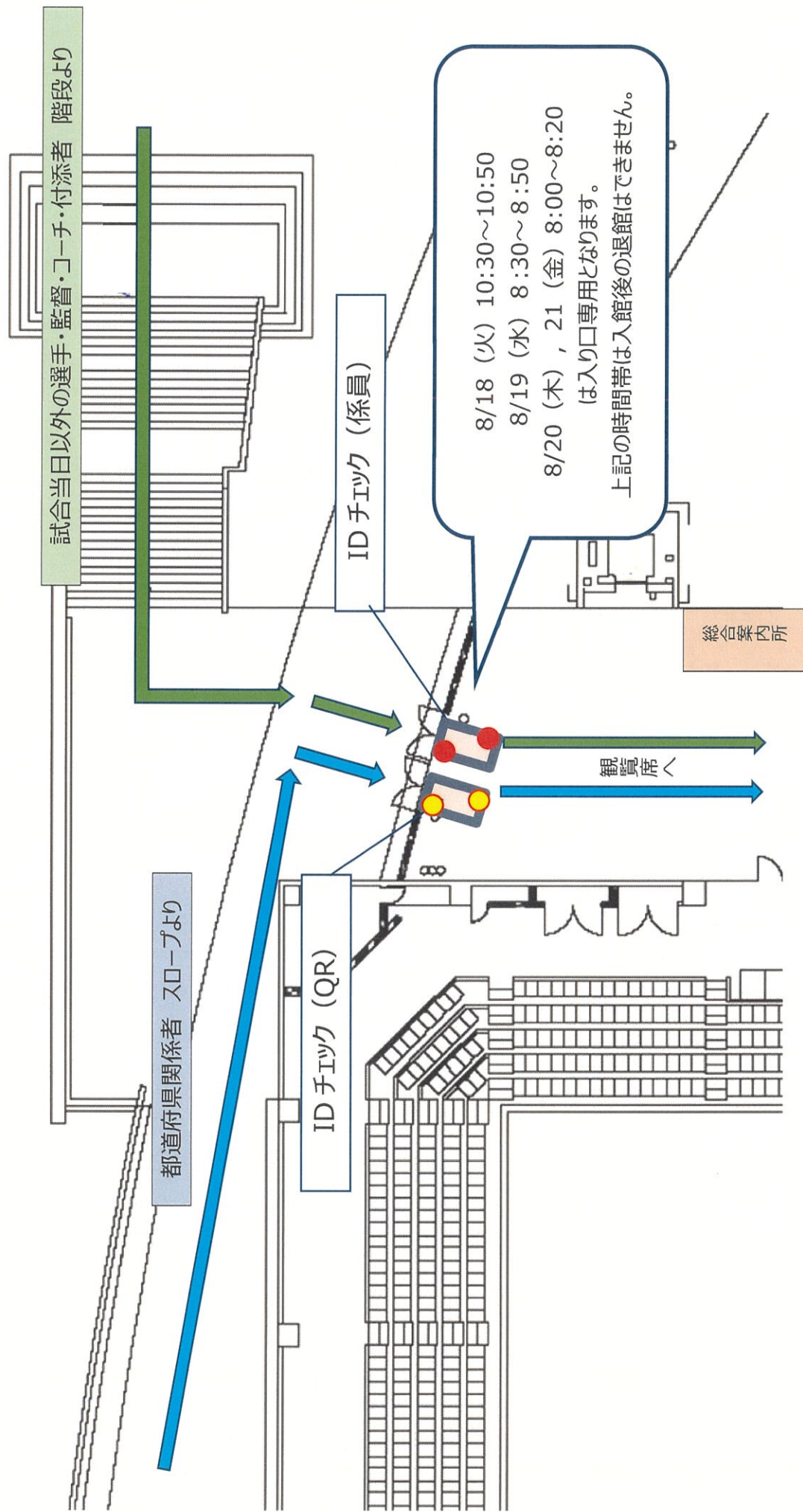
シゲトーアリーナ1階 入り口拡大図 8月17日(月)受付後の動線



シゲトーアリーナ1階 入り口拡大図 8月18日(火)～21日(金)受付後の動線

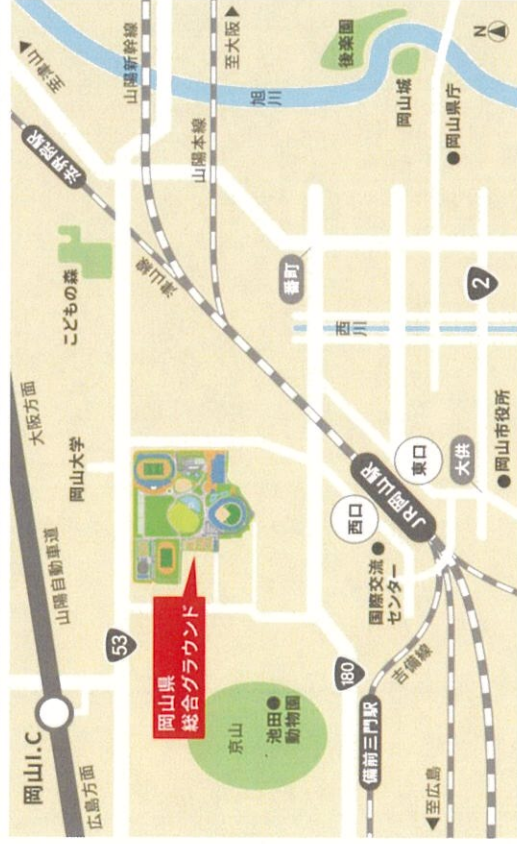


シゲトーアリーナ2階 入り口拡大図 8月18日(火)～21日(金)入退場時の動線
(都道府県関係者(保護者等)用・試合当日以外の選手・監督・コーチ・付添者)

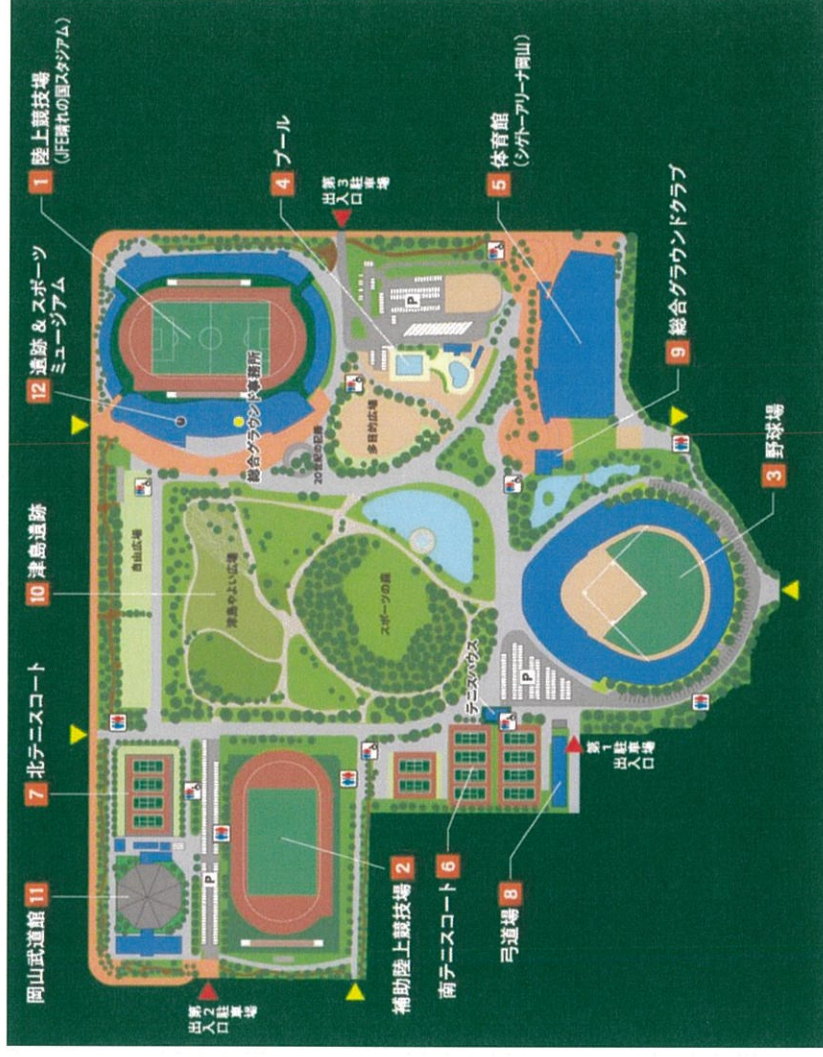


令和8年度全国中学校体育大会 第57回全国中学校柔道大会

シゲトアーリーナ岡山 道路案内図



徒歩	JR岡山駅西口から 北へ約1.5km - 約20分
車	山陽自動車道岡山I.Cから 南へ約7km - 約10分
バス	JR岡山駅西口から 約3分(スポーツセンター前下車)
	JR岡山駅東口から 約6分(スポーツセンター前下車)
	岡山空港から 約23分(スポーツセンター前下車)



会場周辺の駐車場が少ないため、ご来場の際は公共交通機関を利用するか、大会シャトルバスをご利用ください。

【シゲトアーリーナ岡山】 試合会場

〒700-0012 岡山市北区いずみ町 1-1-3 TEL 086-253-3944

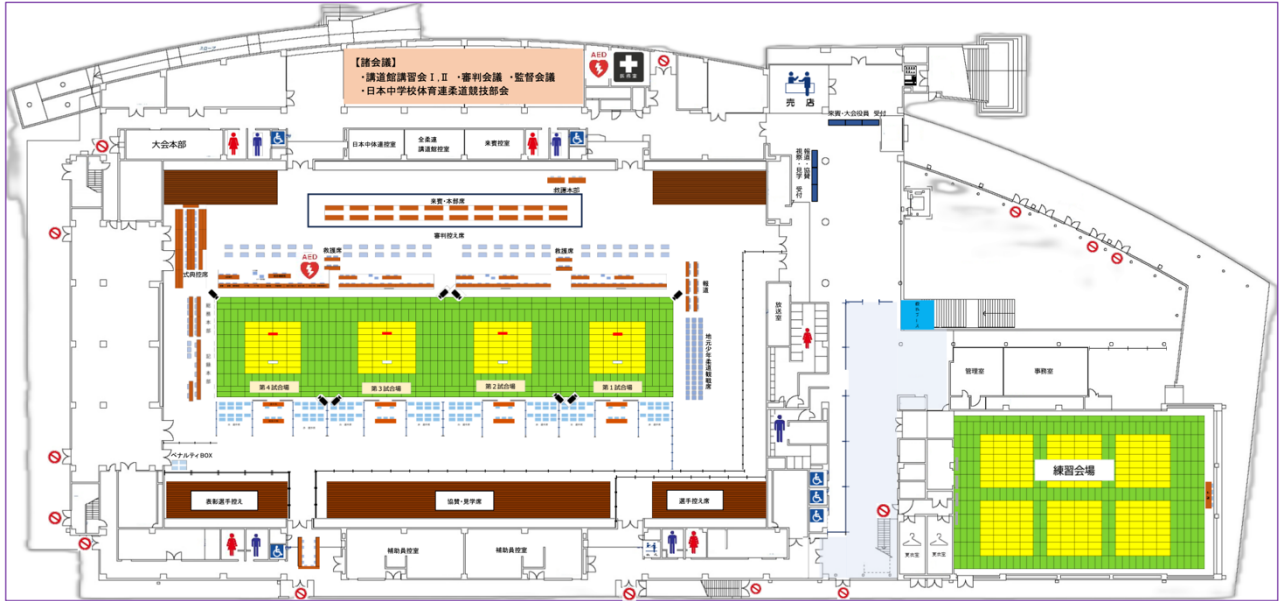
【岡山武道館】 前日受付会場・公式計量会場・前日練習会場

〒700-0012 岡山市北区いずみ町 8-37 TEL 086-253-3141

競技部より

1、試合場について

(1) 試合場の配置、審判員待機席について



- 本部と試合場の間の審判員席（試合場毎）で待機してください。
- 次試合の審判員は、進行状況を見てインカムとトランシーバの準備等を行い、スムーズに次の試合が始まるようお願いします。

2、審判員割当について（審判員割当表参照）

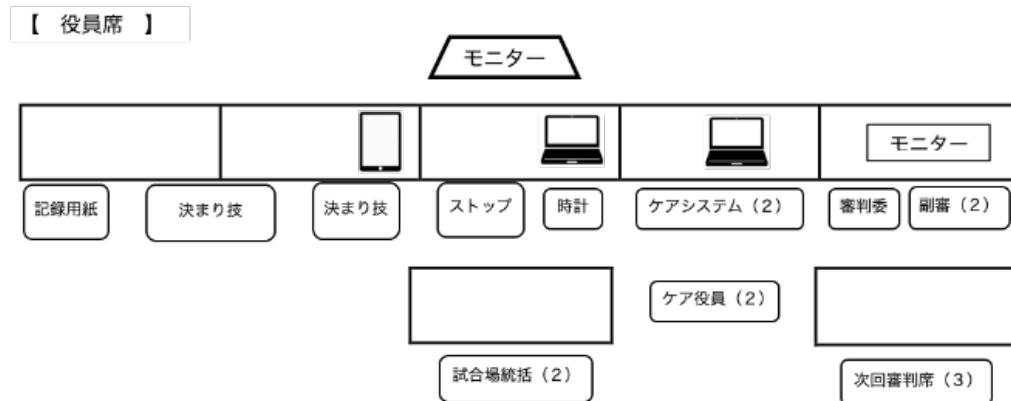
- (1) 審判は1人審判制で行い、主審・副審2名とします。審判委員は、専任です。
- ※女子団体戦は、1・1・1（代表戦）。男子団体戦は、2・2・1（代表戦）で主審を交代してください。
- ※個人戦は、割当表を参考にし、主審2試合で交代してください。
- (2) 審判割当表は、各日の審判打ち合わせ会議にて配布いたします。
- (3) 男女団体戦、男女個人戦ともに準決勝及び決勝戦は、指名審判として連絡します。
- (4) 試合を揃えて始める場合は審判員及び選手入場のアナウンスがありますので、その指示に従ってください。その後、【試合を開始してください】のアナウンス後、選手を試合場内に入れるジェスチャーをお願いします。準決勝及び決勝戦は、学校名・選手名紹介・審判員紹介の放送があります。

※揃える試合【団体戦：1試合目、決勝トーナメント1回戦、準々決勝、準決勝、決勝】【個人戦：1試合目、準決勝、決勝】

3、ケアシステムについて

○ケアシステムの操作は、会場ケアシステム担当（生徒）が行います。映像を確認する場合は、担当に申し付けください。

○審判委員・副審の席の配置について



4、柔道衣点検について

○試合当日、待機席への入場前に係員が目視にて柔道着点検及び IJF マークの確認を行います。

○試合途中、審判員により疑義が生じた場合は、各試合場において審判員が計測器を用いて検査してください。規格不適合の場合、同行の別の柔道衣（規定にあったもの）に着替えて試合を行ってください。代替の柔道着がない場合は、相手選手の【棄権勝ち】となります。

5、連絡事項

- (1) 審判員は定められた公認審判員の服装（夏服）でお願いします。半袖 Y シャツ、グレーのズボン、黒の靴下、左胸にライセンスエンブレムを着用してください。（ノーネクタイでお願いします）
- (2) ID は、試合審判時以外は常時着用でお願いします。また、受付時に配布する審判員番号札は、左腰のベルト付近に着用をお願いします。また、インカムは大会期間中各自で保管し、最終日にインカム返却箱にお返しください。
- (3) 開会式は、指定の審判席でご起立・ご整列ください。
- (4) 試合審判に影響のないよう、ご待機、準備をお願いします。
- (5) 審判員のマナー、エチケットについてご留意くださいますようお願いいたします。
- (6) 貴重品の管理は、各自でお願いします。

総務部より

1、IDについて

- (1) 選手・監督・コーチ・付添者は、IDを常に首から下げて提示できるようにしてください。試合会場（メインアリーナ）に入場できるのは、当該日のID保持者のみです。またIFへの入場も、当該日のID保持者のみとなります。
- (2) IDは大会期間中、紛失することがないように各自で管理してください。

2、シゲトーアリーナ岡山・岡山武道館の使用について

- (1) ゴミについては、各自持ち帰りとなっています。また、周辺店舗のごみ箱に、購入物以外のゴミを入れないで下さい。
- (2) 部旗・応援旗の掲示は禁止します。
- (3) シゲトーアリーナ岡山1階の大部分は土足厳禁となっております。必要であれば、下足入れ袋と上履き等をご準備ください。よろしくお願いいたします。
- (4) 喫煙については、会場の外、1階の北西方向に喫煙所が設置されています。マナーを守る事。また、保護者にも周知するようにお願いします。
※大会期間中は、シゲトーアリーナ岡山は貸切ではありません。アリーナ事務所を訪れる一般利用の方もいらっしゃいます。
- (5) 駐車場は、駐車証が必要です。駐車証がない車は駐車できません。岡山県総合グラウンド内の一般駐車場を利用するか、または、近隣のコインパーキングをお探しください。近隣の商業施設には絶対に駐車しないで下さい。
- (6) 開場時刻より大幅に早く並ぶことはご遠慮ください。各都道府県・各チームで周知徹底してください。

3、更衣場所・荷物について

○当日試合者

- ・当日練習会場前の更衣室を使用してください。大きい荷物は、メインアリーナ2階の選手荷物置き場に置いてください。

※荷物での場所取り等はしないように、監督・コーチは指示をお願いします。

○前日試合者またはフリーの時間帯での前日練習会場利用者

- ・岡山武道館の更衣室を使用し、荷物は武道館2階観覧席に置いてください。

○貴重品の管理は、各チームで確実に行ってください。

4、練習会場について

- (1) 当日練習会場・前日練習会場には入場できるIDの色があります。また、前日練習会場を使用できる自由開放の時間もあります。必ずIDカードが必要となります。

す。時間帯等については、大会要項をご確認ください。

(2) 練習会場で練習できるのは選手と個人戦付添者の ID を所持した方のみです。

中学生以外が柔道衣を着て練習相手になることはできません。

5、医療救護について

(1) シゲトーアリーナ岡山には、医師3名、柔道整復師2名、看護師の1名。岡山武道館には柔道整復師1名が常駐します。必要に応じてお声掛けください。但しその場合は、監督・コーチが同席するようにお願いします。

(2) 宿舎等から医療機関を受診した際も、委員長を通じてブロック長から大会本部に報告するようにお願いします。

(3) 試合会場・練習会場で救急車の要請が必要となった場合は、大会役員に連絡してください。大会本部が救急車の要請をします。

6、弁当の引き換え等について

(1) 弁当の引き換えは、指定弁当引換所にて、**11:00～13:00**の間で行います。

(2) 弁当受け取り後1時間以内に必ずお召し上がりください。また、お持ち帰りはご遠慮ください。

(3) 弁当の空き容器は、**15:00 まで**に引換所にご持参ください。

7、その他

(1) 紅白帯は大会実行委員会で準備していますが、各チーム・個人で準備して頂いても構いません。各会場で、紅白帯の貸出を行っています。

(2) 受付時に配布した歓迎袋の中に、選手変更届（団体戦出場チームのみ）、大会参加費の領収書等が入っています。また大塚製薬よりスクイズボトル等が配布されています。

(3) 岡山武道館プログラムの販売ブースにて、お金と引き換えにプログラムをお渡しします。当日販売はシゲトーアリーナ岡山2階、総合案内所で行っていますが、数に限りがあります。

(4) 屋外に出店ブースが設置されています。

(5) 感染症対策については、大会要項 19 その他 (2) 負傷・疾病等について ④を参照してください。

(6) 男子団体決勝戦前に、投の形の演武を行います。

(7) 宿泊の領収書は、宿泊申込みサイトから領収書の手続きを行ってください。

式典係より

1、開会式

- (1) 開会式は、女子団体戦の1・2試合目に出場するチームに参加していただきます。11時55分までに各試合場の待機席に待機するようにお願いします。
- (2) 開会式終了後試合会場で12時25分までアップの時間を確保します。

2、敢闘賞及び5位の賞状授与について

団体戦において敢闘賞（ベスト16）、5位（ベスト8）に入賞。個人戦において5位（ベスト8）に入賞したチームや個人に、賞状が授与されます。賞状の準備が整いましたら放送にて連絡させていただきますので、シゲトーアリーナ2階総合案内所にお越しください。

3、表彰式その後の動き

- (1) 表彰式に参加するチーム及び選手の参集範囲は以下の通りとします。
 - ①男女団体戦及び男女個人戦において、優勝・準優勝・3位（団体2チーム・個人2名）に入賞したチーム及び選手とします。
 - ②団体戦においては、男女ともに大会登録選手全員が参加してください。
 - ③男女個人戦においては、選手本人が参加する。都合により、代理人を立てる場合にはその旨を式典係に伝えてください。
- (2) 表彰式に参加するチーム及び選手の参集場所は、1Fメインアリーナの可動席の前列とします。準決勝以降、待機をしてください。
- (3) 表彰式後の動きについて
 - ①表彰式終了後、入賞した選手やチームにはオフィシャルの写真撮影が行われます。写真撮影は、オフィシャル⇒報道⇒一般（保護者等）の順で行います。時間に限りがありますので時間厳守でお願いします。撮影時間については、アナウンスに従ってください。なお、一般の写真撮影参加希望の方は別途放送で集合場所等を連絡させていただきます。係の指示にしたがってメインアリーナまでご移動ください。
 - ②写真撮影後、メダルケース・トロフィーの箱を忘れずにお持ち帰りください。

4、閉会式

- 男子個人戦表彰式後に閉会式が行われます。男子個人戦の写真撮影は、閉会式終了に行われます。

令和8年度 全国中学校体育大会 第57回全国中学校柔道大会

開会式【8月18日（火）】 12:00（開式通告）～

1 開式通告

2 開会宣言 大会委員長 神谷 兼正

3 あいさつ 日本中学校体育連盟理事 中山 政彦

岡山市教育長 三宅 泰司

4 優勝旗返還 女子 奈良県 五條市立五條東中学校

男子 埼玉県 埼玉栄中学校 ※紹介のみ

5 選手宣誓 笠岡彰善館 藤井 太一

和柔道クラブ 中原 和禾

6 閉式通告

女子団体戦表彰式【8月18日（火）】 男子団体戦表彰式【8月19日（水）】

17:10～

1 開式通告

2 表彰

3 閉式通告

16:45～

1 開式通告

2 表彰

3 閉式通告

女子個人戦表彰式【8月20日（木）】 男子個人戦表彰式【8月21日（金）】

17:15～

1 開式通告

2 表彰

3 閉式通告

17:15～

1 開式通告

2 表彰

3 閉式通告

閉会式【8月21日（金）】※男子個人戦表彰式終了後

1 開式通告

2 あいさつ 日本中学校体育連盟理事 中山 政彦

3 閉会宣言 大会委員長 神谷 兼正

4 閉式通告